



令和7年度 学校経営方針

職員会議資料

全ての人を
笑顔 (Well-being) にする
戸田東小学校



戸田市立戸田東小学校
校長 (CEO) 高橋 博美



戸田市立戸田東小学校は先進的な教育を進めています

視察等回数24回

のべ公開授業90授業

ほぼ全員46名

視察授業公開



全ての学年で、
全ての教科で、
日常使い

20年後の社会で
活躍できる子の育成

変化にしなやかに対応できる
変化を創る人財

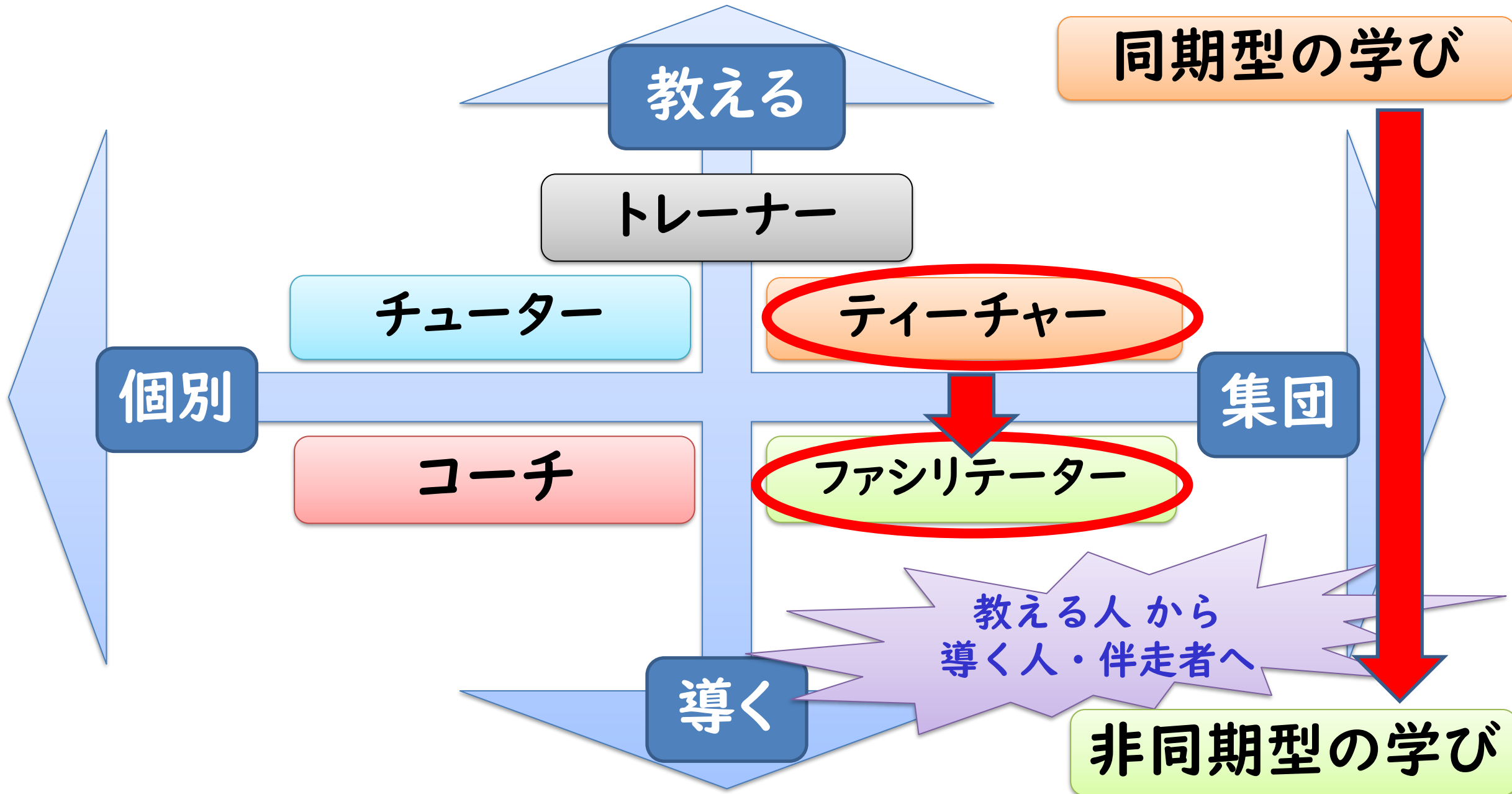
未来社会を創造する子供たち

- ・思考➡振り返り活かす力
- ・表現➡考えをもち表現する力
- ・協働➡協働・協調する力

令和の日本型学校教育

- ・個別最適な学びと協働的な学び
- ・ICTを文房具として活用
- ・子供主体の学び

教師の役割の変化



PBL

Project-Based Learning

- ・地域の課題を見つけ、自分たちなりに試行錯誤しながら成果物を通して解決していく学び
- ・しののめ（生活科・総合）

戸田東型PBL

戸田東型PBLとは？

そもそもProjectって何？

**正解の無い未知の課題を
実際に解決していくこと。**

※プロジェクトの語源は、未知の状況（pro）に、
自分を投げ入れる（ject）こと。

Project



課題

解決

Based Learning



学習

戸田東型PBL（課題解決型学習）の定義

具体的な誰かの要望や自身の願望にもとづき、何をしていくか（課題）を決め、期限内にその目標の達成や理想の実現（解決）を目指す活動を通じて、「未来を切り拓く力」を身に付ける社会に開かれた探究的な学び（学習）

社会
(Projectの場)

P B L

学校

(学習・探究の場)

戸田東型PBL（課題解決型学習）にするための要件

単元設計の際に、下記6つの要件が考えられているかを確認すること。

下記「▲」の段階から、「◎」のように一歩進めることが戸田型PBLにおいて大切である。

- ☐ 「誰の何のため」という、対象と目的が具体的かつ明確である
▲ 水害を調べて発表しよう ⇒ ◎ 必要な防災グッズを親に提案し、家族を守ろう！
- ☐ 「あなたなら何をするか？」という実行方法を問う課題である
▲ 食品ロスとは何かを考えよう ⇒ ◎ 食品ロス防止のために私達に何ができるだろうか？
- ☐ 解決（目標の達成、理想の実現）をしたかの基準が明確である
▲ 漠然とゴミを減らしたらゴール ⇒ ◎ 1人1日100gの家庭ゴミを減らしたらゴール
- ☐ 解決したかどうかを検証し、次につなげる活動の時間がある
▲ 最終結果をまとめて発表した ⇒ ◎ 未解決理由を探り、改善策を考え（実行し）た
- ☐ 振り返りの視点を示し、学びの自覚化を促す時間がある
▲ チェックシートに○×を付ける ⇒ ◎ 何を学び、どう活かすか等を子供自身が言語化する
- ☐ 下図のようなプロセスを繰り返し、学びを段階的に発展させている
▲ プロセスを繰り返している ⇒ ◎ 発展のさせ方は、『戸田型PBLの考え方2』を参照

新しい学びのカタチ

東小

児童の興味・関心を生かした探究的な学習を充実～PBL～

戸田東小学校PBL しののめタイム

6年生 戸田市に幸せの花を咲かせよう

5年生 戸田市に幸せの花を咲かせよう

4年生 防災フェアを開こう

3年生 うれしい！楽しい！おいしい！東小ハッピー給食

2年生 TOYプロジェクト ～動くおもちゃを作って 1年生に楽しんでもらおう～

1年生 ひがし小へようこそプロジェクト

～「ドキドキ…」から「わくわく！」をめざして、学校しょうかいをしよう～

なのはな たーべたーべプロジェクト～KYUSYOKU & OBENTOU～

■なのはな たーべたーべプロジェクト～KYUSYOKU & OBENTOU～



01. 給食について知ろう 知らせよう



平島先生に質問!!!

中学生に産地を紹介



02. お弁当について知ろう

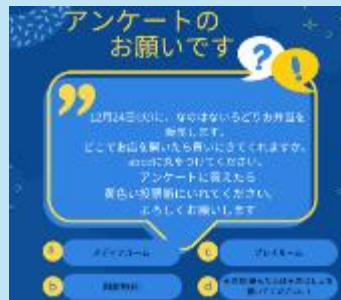


キッチンオリジンさんを招いての授業その1
一汁三菜、旬の食材…。お弁当作りは大変💦



二階いずみ	なまもふ	COO	なまもふ	なまもふ	なまもふ	なまもふ	なまもふ
なまもふ	なまもふ	なまもふ	なまもふ	なまもふ	なまもふ	なまもふ	なまもふ
なまもふ	なまもふ	なまもふ	なまもふ	なまもふ	なまもふ	なまもふ	なまもふ
なまもふ	なまもふ	なまもふ	なまもふ	なまもふ	なまもふ	なまもふ	なまもふ
なまもふ	なまもふ	なまもふ	なまもふ	なまもふ	なまもふ	なまもふ	なまもふ
なまもふ	なまもふ	なまもふ	なまもふ	なまもふ	なまもふ	なまもふ	なまもふ
なまもふ	なまもふ	なまもふ	なまもふ	なまもふ	なまもふ	なまもふ	なまもふ
なまもふ	なまもふ	なまもふ	なまもふ	なまもふ	なまもふ	なまもふ	なまもふ
なまもふ	なまもふ	なまもふ	なまもふ	なまもふ	なまもふ	なまもふ	なまもふ
なまもふ	なまもふ	なまもふ	なまもふ	なまもふ	なまもふ	なまもふ	なまもふ

03. お弁当のメニューを考えよう



キッチンオリジンさんを招いての授業その2
楽しく作るだけじゃだめ！衛生面に気を付けよう！！

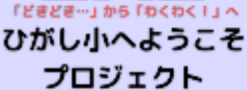
04. お弁当販売について考えよう



05. お弁当を販売しよう

ひがし小へようこそプロジェクト

≡Welcome≡



「ひがし小へようこそのかい」をひらこう！



相手意識

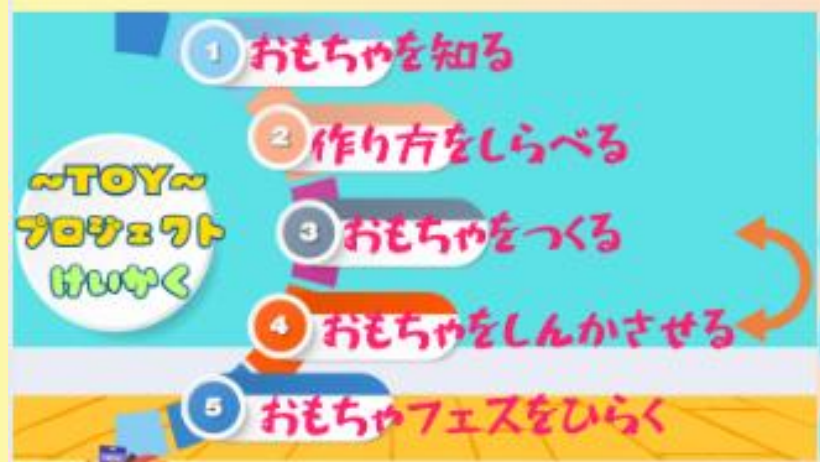
身近な人々と関わることの
よさや楽しさが分かる！

えんぴつをこすりやってもったらうま
くいくんだよとか字をしっかりと見
かくとでいいいにかけるよとかおし
えたらうちえんの子がありがと
うっていつてくれてうれしかった。

■ 2年生しなのめ

T0Yプロジェクト

～動くおもちゃを作って 1年生に楽しんでもらおう～



おもちゃを知る



先生たちの作った
おもちゃ作りたい

このおもちゃの
仕組みは・・・？



作り方をしらべる

必要な材料は？
作る手順をまとめて
おこう！



1つ作るのに何分
かかるかなあ？

調べた作り方を基に
グループで製作



分からないところは
教えあって協働作業



昨年おもちゃフェスをやった
3年生からアドバイスを！



もらったフィードバックを
基におもちゃの改良！



1年生に向けておもちゃフェスを開催。
このフェスが伝統となるように
お・も・て・な・し

おもちゃ作りだけでなく
呼び込みや接客など他教科で
学んだことを生かして



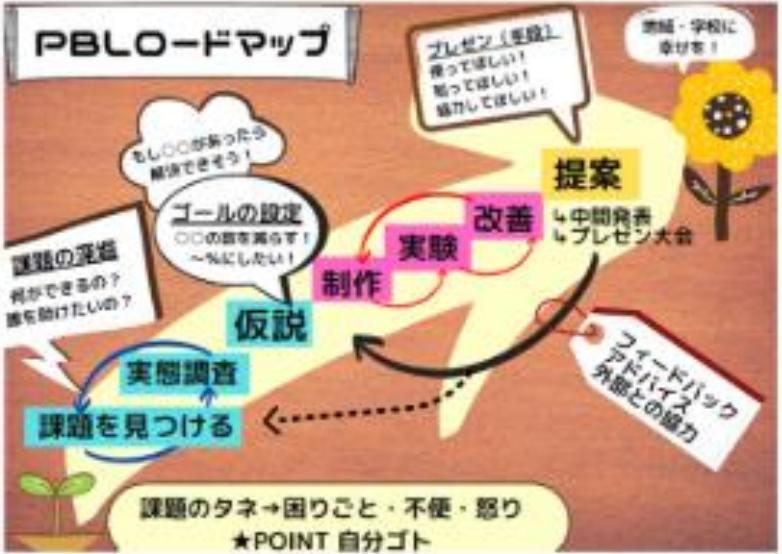
おもちゃをつくる



おもちゃをしんかさせる

おもちゃフェスをひらく

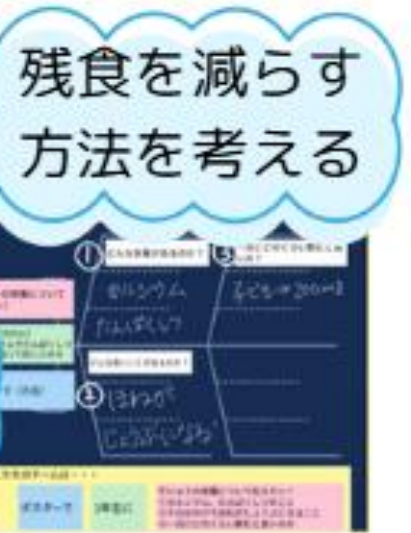
3年生のための うれしい！楽しい！おいしい！東小ハッピー給食



①課題との出会い



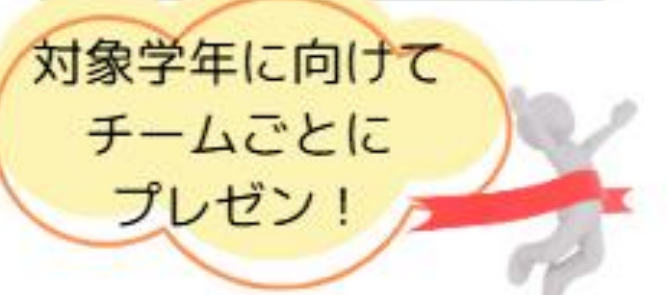
②情報収集・整理・分析



③成果物の作成



④まとめ・発表



■ 4年生 しののめ 防災フェアを開こう



防災意識を高めるために・・・



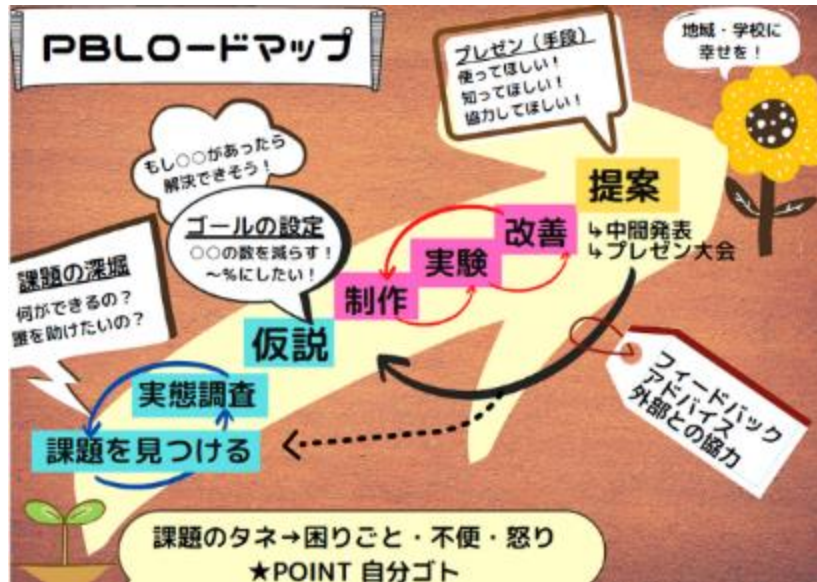
この後の計画をきちんとたてよう。

防災フェアを開こう！ ～活動スタート発表会に向けて、 何のために、誰のために、防災フェアを開くのか考えよう～				
日付	計画・流れ	分かったことや	レベル	達成させてい
11/8	情報集め2	学年アンケートを答えた。自分は災害の怖さを知らなかったのでもっと災害の怖さを知ってちゃんと災害が起きたら生活できるようにしたいです。	レベル3	計画を立てて、準備を進めている。
11/11	情報集め3	こんなよとなるデータを作りました。アンケートの結果、1手作りで作れる防災グッズの中で興味のあるものがいくつかある。2手作りで作れる防災グッズの中で興味のあるものがいくつかある。3手作りで作れる防災グッズの中で興味のあるものがいくつかある。	レベル2	計画を立てて、準備を進めている。
11/12	整理・ぶんせき1	こんなよとなるデータ整理を確実に仕上げた。(手作りで作れる防災グッズの中で興味のあるものはなんですか)という質問の結果、作るものが決まったから、ちょっとだけ作り方をみた。	レベル1	計画を立てて、準備を進めている。
11/13	整理・ぶんせき2	クラゲチャートを作った。クラゲチャートに今の現状、ゴールの姿、対象者、宿題を書いた。計画シートも作った。計画シートにどうやって保護者たちに伝えるのか、流れを書いた。		計画を立てて、準備を進めている。

今までの反省を活かして・・・



■ 5年生しなのめ 戸田市に幸せの花を咲かせよう



課題設定



困りごと：こうなったらいいなあ
より良く：もっと楽しい、もっと便利
手助け：〇〇の人を手助けしたい
新しい事：〇〇をやりたい、〇〇を作りたい

地元企業やベネッセコーポレーションの方をGTに迎え、課題設定・課題解決の仕方やポイントを学んだ。

実態調査



現地調査、インタビュー、Googleフォームやクラスルームを活用したアンケートの実施など、課題に合わせて様々な方法から選んで実施

成果物の作成

本物志向で
満足感を！



- ・身近な材料を用いて手作り
- ・自らのデザインを3Dプリンターで具現化
- ・イベントの考案・実施
- ・考案したレシピで調理 など

「もし、〇〇があったら解決できそう！」という仮説のもと、「製作→実験→改善」のスパイラルを繰り返しながら、よりよい成果物の完成を目指す。

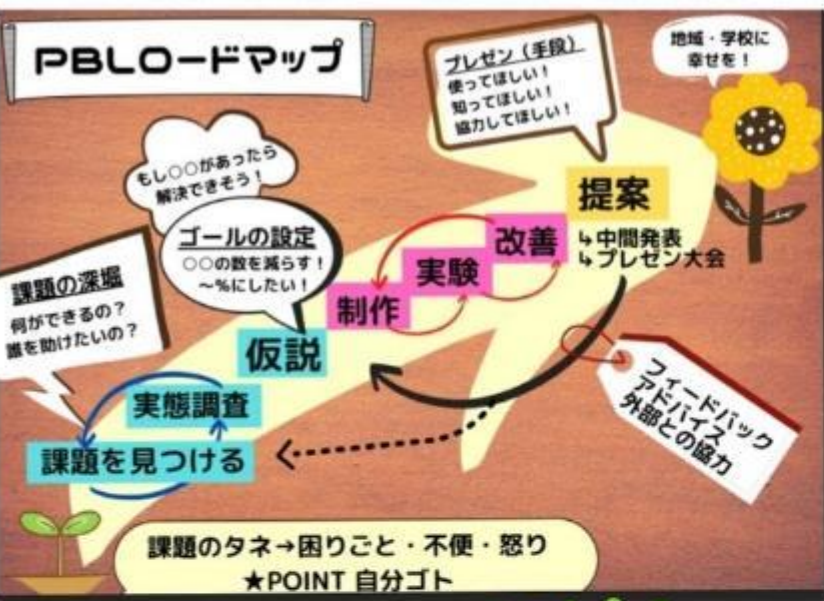
まとめ・発表

使ってほしい！
知ってほしい！
協力してほしい！



聞き手を共感させ、説得力を持たせるための工夫をしながら資料を作成

■ 6年生しなのめ 戸田市に幸せの花を咲かせよう



第1サイクル

「課題設定」



戸田市に幸せの花を咲かせよう

幸せとは??

- 楽しい
- 便利
- 時間がある
- 困りごとが少ない
- 裕福である

課題のタネを見つけるポイント

- ① 困りごと: こうなったらいい。〇〇を解決したい。
- ② よりよく: もっと便利に。もっと楽しく。
- ③ 手助け: 〇〇の人を手助けしたい。
- ④ 新しい事: 〇〇をつくりたい。〇〇を企画したい。



「仮説・制作・改善」

必要感を高めるポイント

- データや数値を示し、根拠を明確にする
- 何で戸田市に幸せの花が咲くのが明確にする
- インターネット
- 話を聞く
- 実際に調べる
- 目で見て確かめる
- アンケートをとる
- 実例をあげる



第2サイクル

「制作・改善」



「広める」

- 第1サイクルの見直し
- 解決方法のアイデア
- 協力者との連携
- 〇〇の調査
- イベント・制作活動
- 実験・検証

- 活動を広めていくために必要なこと?
- やりたいと思わせる
 - 学校外へ
 - アイデア
 - 画数
 - 協力者
 - 専門家



第3サイクル

「成果発表会」「制作・改善」



今までの学びのカタチ

古い学び 一斉・画一・アナログ・全員

われわれが学んだ・教えた授業

■教師が黒板の前に立ち一斉指導

■子供は同じ作業・活動を同じ時間内に

■挙手して発表 一人だけ話す・残りは聞く人

■黒板に書いたものを一生懸命に写す（視写！？写経！）

■教師は教える人・子供は教わる人

■教師が問題を与え、子供は考える・解く

■全員が同じ規準

チイチイパツパ チイパツパ
すずめの学校の先生は
むちをふりふり チイパツパ
生徒のすずめは わになって
お口をそろえて チイパツパ
まだまだいけない チイパツパ
も一度いっしょに チイパツパ
チイチイパツパ チイパツパ

新しい学びのカタチ

文房具としてのタブレット端末

戸東小の学び・学びを深める授業

■教師はどこへ？個別の活動

■子供は学び方・方法・時間も選択

■情報は子供同士で共有 小グループで話す・聞く

■必要なものは自分で記録

■教師は伴走者・子供は学ぶ人

■子供が問いを考え出し、
子供同士で考える・解く

■一人一人の学びのゴール

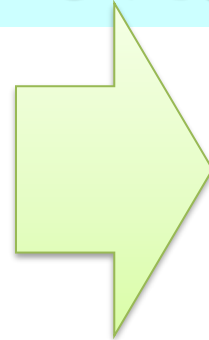
めだかのがっこうは かわのなか
そっとのぞいて みてごらん
そっとのぞいて みてごらん
みんなで おゆうぎしているよ
めだかのがっこうは かわのなか
だれがせいとか せんせいか
だれがせいとか せんせいか
みんなで げんきにあそんでる

新しい学びのカタチ



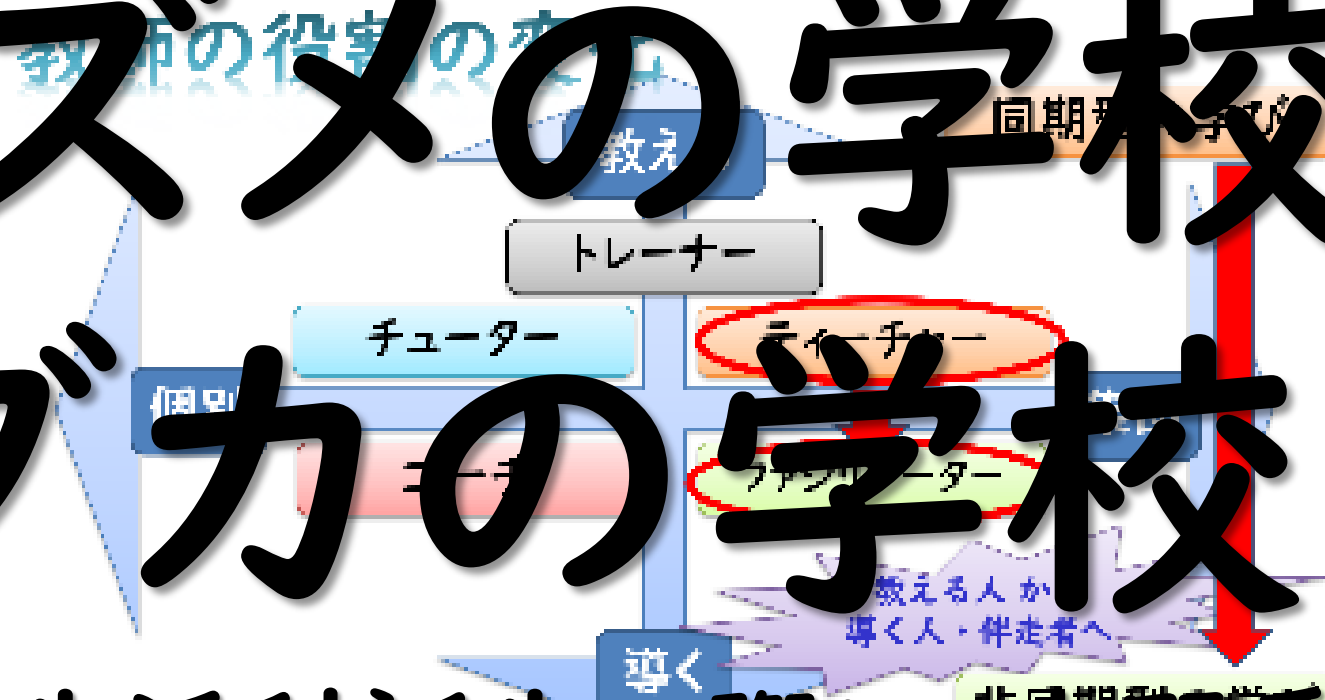
児童の興味・関心を生かした探究的な学習を充実～教科～

戸田東小学校PBL
しののめタイム



教科のPBL化

「スズメの学校から
メダカの学校」へ



平成4年生活科誕生の際に、中野重人視学官

学校の教育目標

<小・中学校共通目標>

グローバル社会で
将来豊かに生き
活躍できる
児童生徒の育成

<小学校>

めざす 児童の姿

未来
を創る

しなやかな発想で
自分の可能性を拓ける子
＜新たな価値を創造する力＞

自律
自走と共創

自分
がすき

自ら考え 選び 行動する子
＜根拠をもって 選択・行動する力＞

ひと
を
大切にする

多様な集団の中で 他者を
尊重し 協働する子
＜対立やジレンマを克服する力＞21

戸田市立戸田東小学校の概要

- ・開校63周年（令和7年度）
- ・H30より小中合同コミュニティースクール
- ・令和3年4月1日 施設一体型小中一貫校開校
- ・児童数：982名（R7.4.4.1）＊大型マンションから登校する児童が多い（6割強）
- ・学級数：34学級（特支級4を含む）
- ・教職員数：62名（県費：50名 市費：12名）＋給食関係職員
 - ＊教頭 養護 事務：複数配置
 - ＊加配教員 ・専科推進1・指導充実1・通級2・日本語指導1

■児童数（令和7年度当初の予定） 1人転出入でクラスの増減が…

学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	なのはな	合計
人数	116	141	140	173	196	196	21	982
学級数	4	5	4	5	6	6	4	34

子供たちが「感動」する 学校

教職員が「歓動」する 学校

地域・保護者の「汗動」に支えられる 学校

戸田東小学校PBL しののめタイム

教科のPBL化

「スズメの学校から
メダカ」へ

平成4年生活科誕生の際に、**中野重人**視学官

めざす学校具体の姿 8

- ①一人一人の子供を見つめ 多様性を尊重する学校 (Bプロ)
- ②教育の本質を踏まえ 生きて働く知識・技能、思考・判断・表現力、学ぶ意欲を育む学校 (Aプロ)
- ③教師自らが資質向上を目指し主体的・対話的な研究と着実な教育実践を進める学校 (Aプロ)
- ④児童も教師も心身ともに健康で 安全・安心・快適・笑顔あふれる学校 (Cプロ)
- ⑤全教育活動で自律に向け創意工夫し ICTの文房具的活用をする学校 (Dプロ)
- ⑥厳しさ・やさしさ・気品 そして 充実とゆとりのある学校 (Eプロ)
- ⑦家庭・地域と共に創る コミュニティースクール (Eプロ)
- ⑧義務教育9年間を見通した 施設一体型小中一貫教育を進める学校 (Eプロ)

めざす 教師の姿

確かな指導力

子供のよさをのばそう

豊かな人間性

子供の心を耕そう

向上心・同僚性

研究と修養に努め
互いに磨き合おう

協働性

組織の一員としての自覚をもって果敢に課題解決に臨もう

誠実さ

保護者や地域の思いや願いを大切にしよう

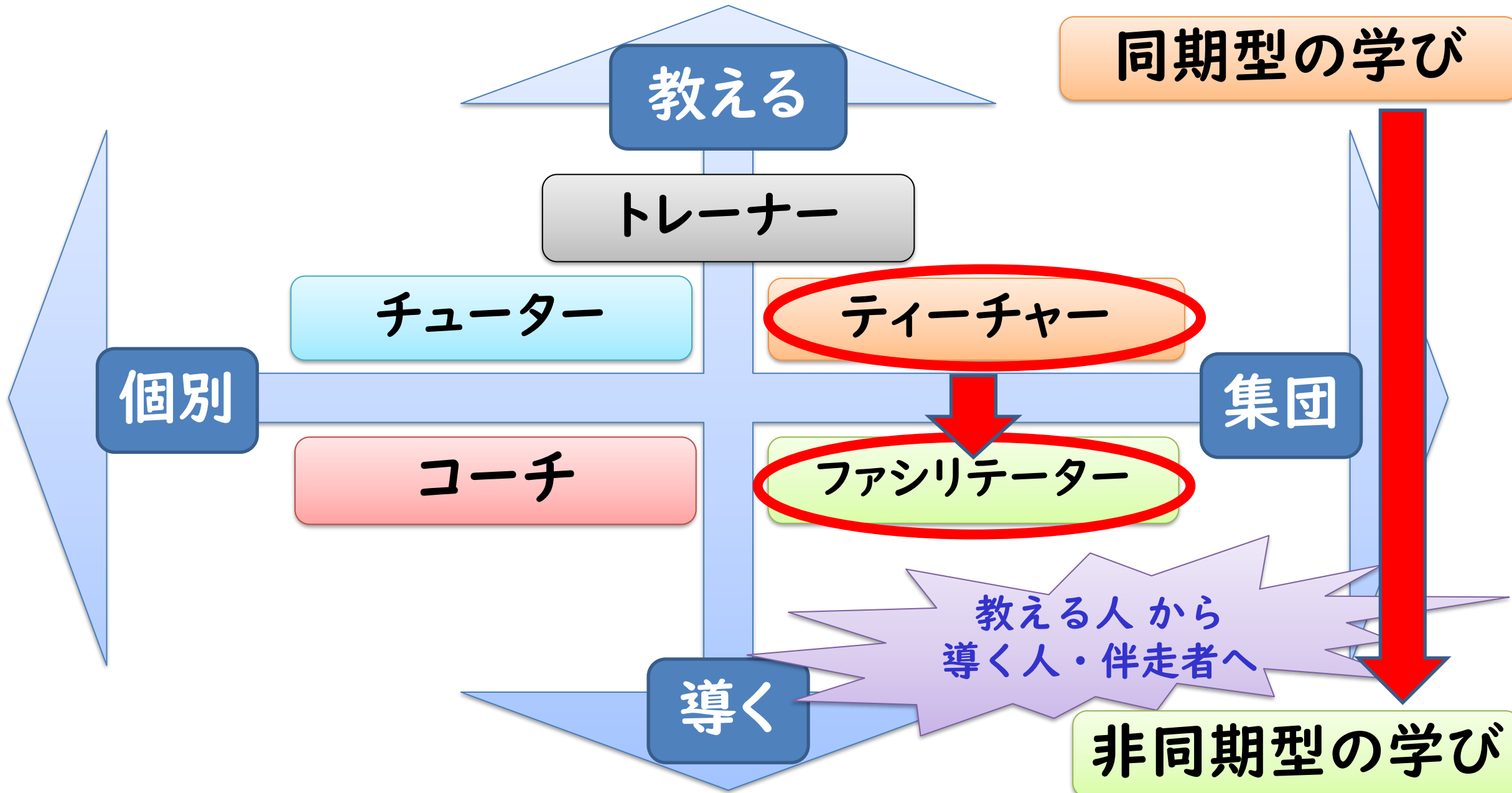
ワークエンゲージメント

働きがい
を高めよう

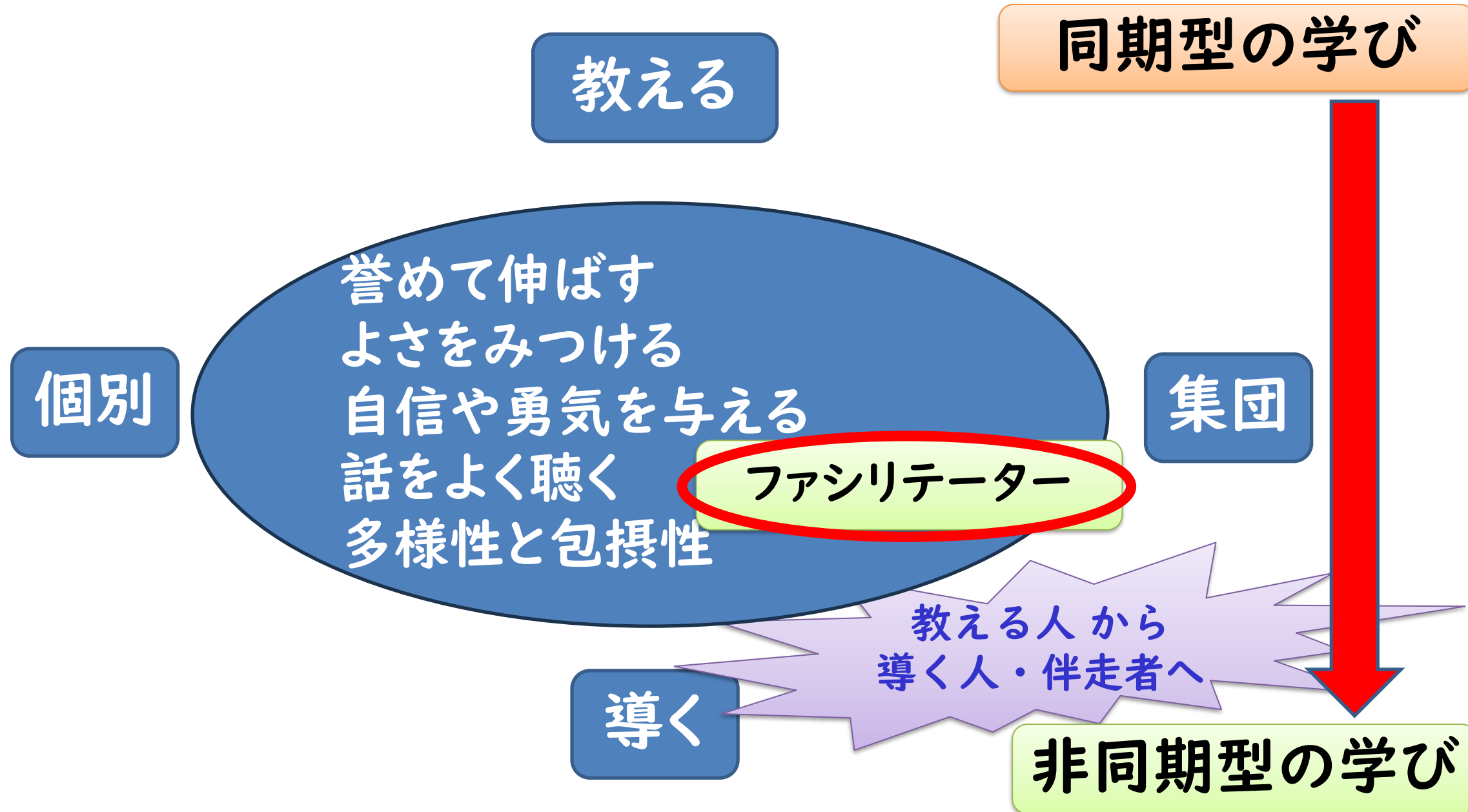
活力いきいき・熱意誇りやりがいい・没頭熱心に

「教える専門家」「学びの専門家」信念と誇りをもって学び続ける教師

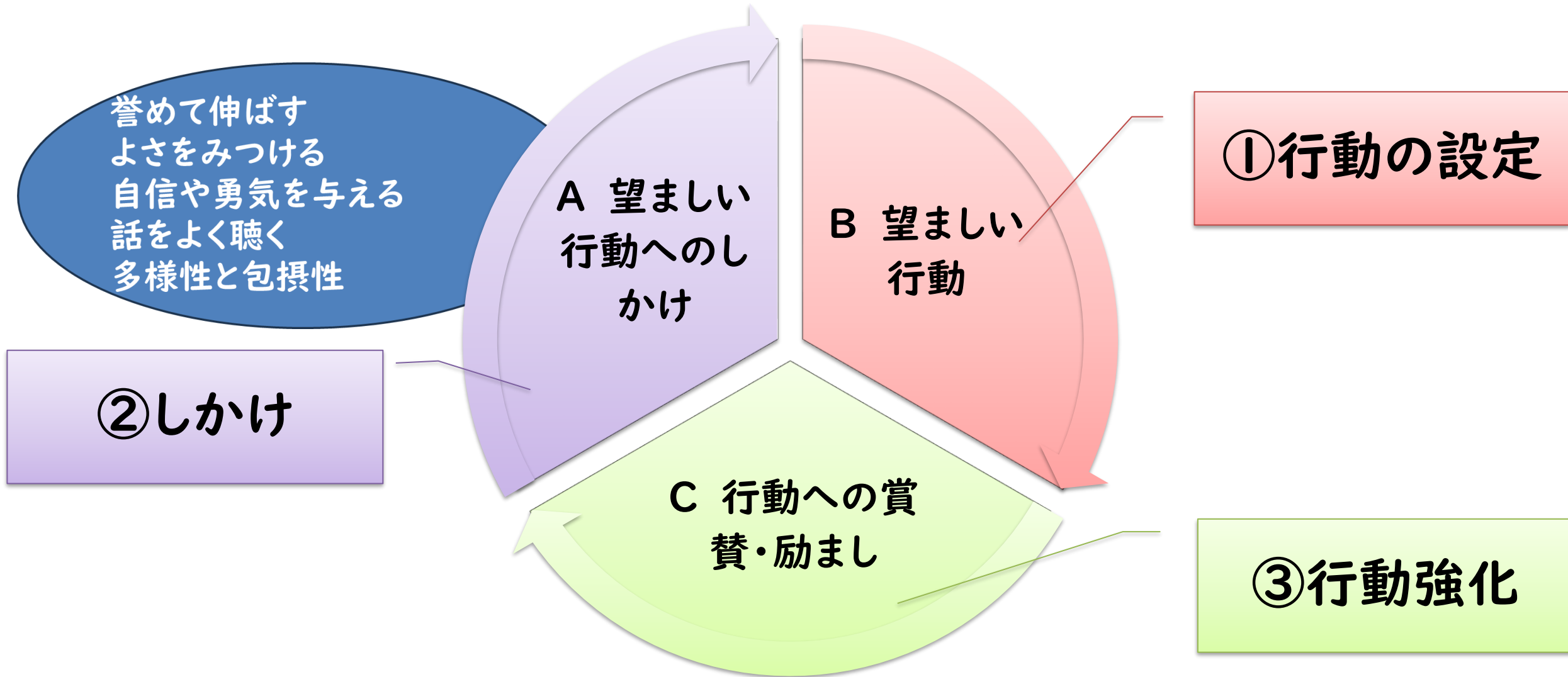
めざす 教師の姿



めざす 教師の姿



めざす 教師の姿（ABC理論で）



プラスのループ・子供へのプラスのフィードバック
教師の姿を子供が真似る・多様性と包摂性のあるクラスの雰囲気

経営方針 学校を人を育つ場とする

戸東フィロソフィー

Mission: 全ての人を笑顔(Well-being)に
— 自律 —

Vision: 「令和の新しい学びのカタチ」

— 子供を主人公に 教師は学びの伴走者 —

Concept: 『自走・共創』

1 全ての判断基準は 「子供の立場」

★Supply Side（供給） から Demand Side（需要） へ

2 スクラップを躊躇しない

★なぜ？ なんのために？ を大切に Why→What→How

★重要性＞緊急性 モグら叩きばかりで本質追求しないと解決しない

3 学び合う学校文化に

★Just Do it！ やってみなはれ

4 失敗から学ぶ組織に

★失敗は成功への第1歩 失敗やミスの情報共有を

★「学校は安全な失敗」ができるところ

5 変化をおもしろがる 変化を創る

★現状把握力＞決断力 データがなければわからない

★小さな当たり前の問い直しを積みかさねることが進化へつながる

6 鳥の目・魚の目・虫の目 + コウモリの目 と 猫の目

★当たり前を疑う目と変化に迅速に対応する目をもって

学校経営のコンセプト

プロジェクト型経営 ―自走・共創する組織―

- ・ 全員参加のミッション型組織による学校運営 <組織改革>

Bプロジェクト

「わくわく・にこにこする学校
づくり」PT

「非認知スキル」

自律型生徒指導の推進と
相談体制の充実

生徒指導いじめ問題対策・

PBS・特活部

就学特別支援教育・教育相談部

Aプロジェクト

「もくもく・わいわいする
学びづくり」PT

「21世紀型スキル」

GIGA第2フェーズにおける
「令和の学び」の実現

・カリマネ部・コミュニティ部
・リフレクションルーブリック・ファ
シリテーション部

Cプロジェクト

「うきうき・もりもりする健康づ
くり」PT

「非認知スキル」

心身の健康増進を図る教育活動

体育体力向・安全教育部

学校保健衛生推進・食育給食部

Dプロジェクト

「サクサク・すいすい進む業務遂行づくり」PT

「汎用的スキル」

戸東小DXの推進

STEAM部・校務運用部・デジタルシティズンシップ部

Eプロジェクト

「Well-beingな職場づくり」PT

働き方改革の推進と

家庭・地域社会との共育体制の充実

倫理確立・衛生推進部

業務改善・音楽・特活部

学校経営のコンセプト

プロジェクト型経営 ―自走・共創する組織―

- ・ミドルマネジメントによる全員参加のミッション型組織による学校運営

1 目的の共有 目標の協働

2 スピードのある対応 R-PDCAの実現

3 個々職員のクリエイティブ パワーの発揮

4 ミドルリーダーのマネジメント力育成

5 内部通報のできる 風通しのよい組織

☆ 負担「感」の軽減



学校経営のコンセプト

プロジェクト型経営 ―自走・共創する組織―

■プロジェクトリーダーによる自走共創

- ・メンバーの「ジブンゴト化」による自走共創

- ・単なる会議・話合いではなくその場で学ぶ・研修の場
(新たな見方考え方・授業技術・指導技術・対応技術)

- ・プロジェクト→小部会→プロジェクト

- ・プロジェクト（縦展開）を学年会等へ（横展開）

学校経営の5つの重点・3つの努力点

①GIGA第2フェーズにおける「令和の学び」の実現

プロジェクトA

②自律型生徒指導の推進と相談体制の充実

プロジェクトB

③心身の健康増進を図る教育活動

プロジェクトC

④戸東小DXの推進

プロジェクトD

⑤働き方改革の推進と家庭・地域社会との共育体制の**充実**

プロジェクトE

1変化にしなやかに対応する学校組織力の向上

2キャリアステージに応じて教員研修の実践とOJTで成長する資質・能力

3なりたい仕事No.1・憧れられる教師としてのロールモデル

①GIGA第2フェーズにおける「令和の学び」の実現

「もくもく・わいわいする学びづくり」プロジェクトA

※学校課題研究

未来社会を創造する児童生徒の育成

～小中9年間を見通した探究的な学習を充実させるために～

・「未来をつくる」子供が主語の学び
(多様な学び方、非同期型授業への挑戦)

・ICTの文房具的活用による
個別最適な学びと協働的な学びの実現

①GIGA第2フェーズにおける「令和の学び」の実現

「もくもく・わいわいする学びづくり」プロジェクトA



①資質・能力ベースの探究学習の推進（新しい学びのカタチ）

②PBLの進化・STEAMへの深化（**地域課題の解決**）

③STEAMを視点に教科の見方・考え方を**育成**

④教科横断的な学び（カリキュラム・マネジメント）

①GIGA第2フェーズにおける「令和の学び」の実現

「もくもく・わいわいする学びづくり」プロジェクトA



⑤主体的・対話的で深い学びの充実（問いとファシリテーション）

⑥学習評価（リフレクション・ルーブリック）の活用

⑦外部連携による実社会につながる学び（アプリの活用）

⑧一実践・視察の授業公開とフィードバック（見られることで磨かれる）

②自律型生徒指導の推進と相談体制の充実

「わくわく・にこにこする学校づくり」プロジェクトB

- ・誰一人取り残されない公正な学びの実現
- ・「自分がすき」自己肯定感と自己有用感の醸成
- ・「ひとを大切にする」多様性・公正性と包摂性の尊重
(ダイバシティ・エクイティ&インクルージョン)

②自律型生徒指導の推進と相談体制の充実

「わくわく・にこにこする学校づくり」プロジェクトB

①行動の背景を探り、よさに着目する生徒指導
(**SWPBSの推進**-School Wide Positive Behavior Support-)

②自己指導能力を育む学級・学年経営の充実
(自己存在感・共感的な人間関係・自己決定)

③いじめ防止と早期発見・対応
(見逃さない見捨てない見て見ぬふりをしない)

④「全ての人を笑顔に」自ら企画・実践・振り返る子供
(**SWPBLでよさのループをつくる**)

⑤教室環境と学びのユニバーサルデザイン化

②自律型生徒指導の推進と相談体制の充実

「わくわく・にこにこする学校づくり」プロジェクトB

⑥個々のニーズに応じた個別最適な学びの実現（なのはな学級・ことばの教室・日本語教室・**ぱれっとルーム**・room-K）

⑦多様性・**公正性と包摂性**の理解・尊重

⑧特別支援教育の推進と「交流及び共同学習」の充実

⑨相談・支援体制の強化（教育相談・就学相談）

③心身の健康増進を図る教育活動

「うきうき・もりもりする健康づくり」プロジェクトC

- ・子供も職員も心身ともに健康な生き方づくり
- ・自分の心、体、命を大切にする教育の推進
- ・自ら安全な生活を営むことのできる安全教育と安全管理の徹底

③心身の健康増進を図る教育活動

「うきうき・もりもりする健康づくり」プロジェクトC



①生涯スポーツの素地をつくる運動の楽しさや喜びを味わわせる体育授業

②養護教諭・栄養教諭の専門性を活かした保健・食育授業

③関係機関・外部連携を生かした命を守る・健康授業

④確実なアレルギー・怪我・校内事故対応

③心身の健康増進を図る教育活動

「うきうき・もりもりする健康づくり」プロジェクトC

⑤戸東小のきまりによる危険予測・法令順守教育（きまり廊下歩行・登下校等）

⑥自助・共助・公助でいのち・人権を守る教育の推進

⑦家庭・地域社会と連携した子供の安全を守る環境づくり

⑧防災教育の工夫・改善

④戸東小DXの推進

「サクサク・すいすい進む業務遂行づくり」
プロジェクトD

- ・未来を共創するICT活用
(学びGIGA・児童支援GIGA・校務GIGA)
- ・保護者・地域と連携したDC教育の推進

④戸東小DXの推進

「サクサク・すいすい進む業務遂行づくり」プロジェクトD

①一人一台端末の文具的活用による個別最適な学びと協働的な学び

②電子黒板ホワイトボードプロジェクターの効果的活用

③デジタルAIドリル活用で習熟プリント廃止

④教育クラウドの効果的な活用及び家庭とシームレスにつながる学び

④戸東小DXの推進

「サクサク・すいすい進む業務遂行づくり」プロジェクトD

⑤メディアリテラシー・デジタルシティズンシップ教育の推進

⑥デジタルアウトプット作品・成果物のブラッシュアップ（STEAM Lab活用）

⑦校務のデジタル化の推進による校務能率アップ

⑧デジタル掲示物の充実（児童・保護者の鑑賞とフィードバック）

⑤働き方改革の推進と家庭・地域社会との共育体制の充実

「Well-beingな職場づくり」プロジェクトE

- ・業務・行事改善＋創造的余白＋ライフの充実
- ・時間的・精神的ゆとりと倫理ある職場風土づくり
- ・コミュニティースクールによる共育体制の充実

⑤働き方改革の推進と家庭・地域社会との共育体制の**充実**

「Well-beingな職場づくり」プロジェクトE



①心理的安全が図られヘルプとサポートが出せる職場

②最上位目標を意識し、セルフマネジメントで50cm業務・行事改善

③地域を学びの場とした学びの充実（地域の人、場所、ものとの交流）

④CS・**学校応援団**等地域・保護者・民間の力を生かした教育活動

⑤働き方改革の推進と家庭・地域社会との共育体制の**充実**

「Well-beingな職場づくり」プロジェクトE

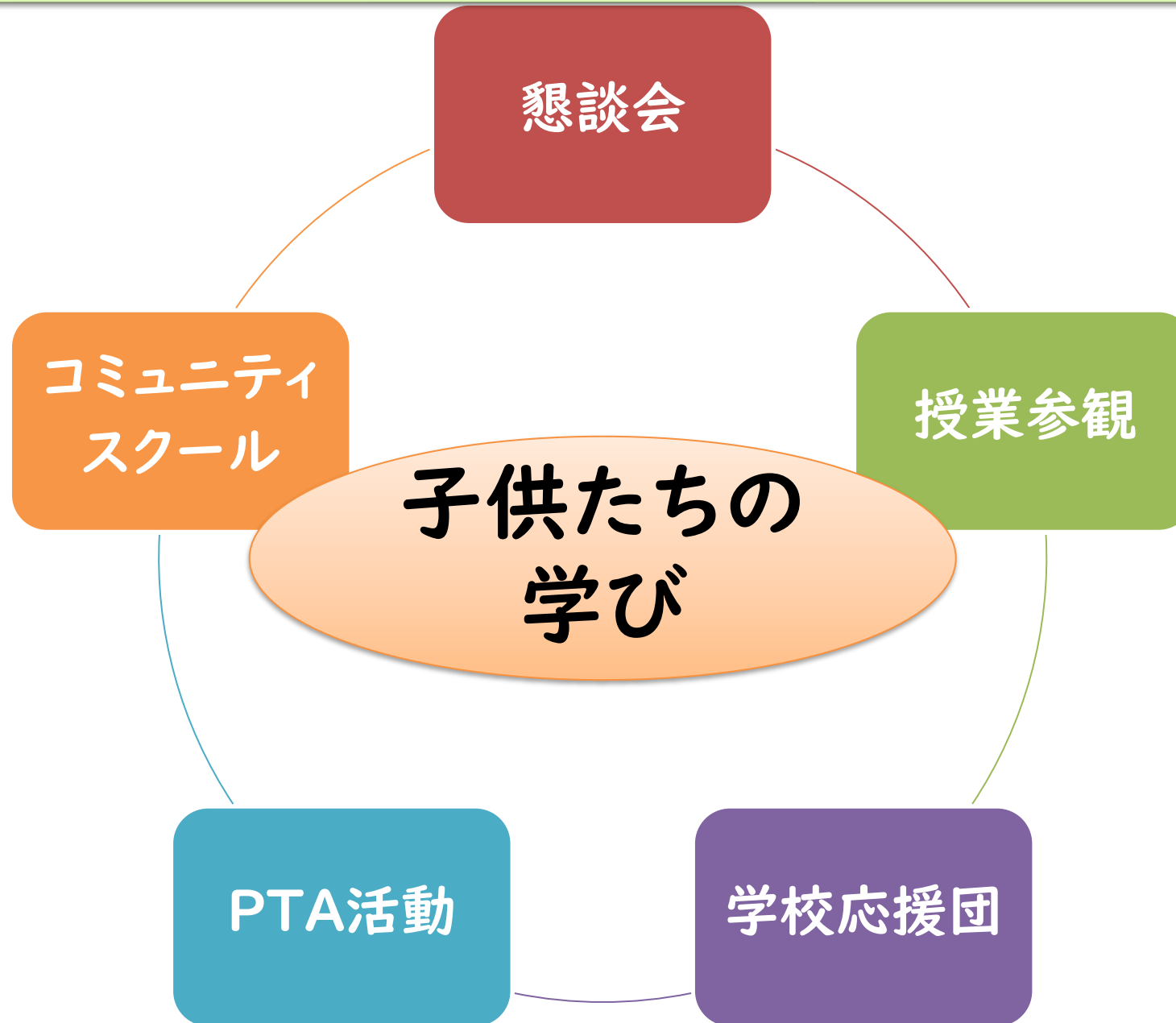
⑤保護者参加型授業参観・「対話のある」懇談会で学校・児童理解

⑥HP,FB,H&S等による積極的情報発信と情報共有

⑦学校評価を活かした学校経営改善

⑧二項往還する地域の教育力と学校力

⑤働き方改革の推進と家庭・地域社会との共育体制の充実



Ⅰ 変化にしなやかに対応する学校組織力の向上

—ミドルによるアップ・ダウンマネジメント—



①プロジェクトへの権限移譲と目的の共有・目標への協働

②「ジブンゴト」として考え、「最上位目標」を意識した対話につとめる

③共通行動と報告・連絡・相談・確認の徹底

④強みと弱みを補完するチームワーク

⑤プロジェクトベースで進める校務分掌運営

2 キャリアステージに応じて教員研修の実践とOJTで成長する資質・能力

—ヘルプとサポートが出せる職場づくりと学びの充実—

①自己申告シートにおける達成目標の焦点化と日常実践の振り返り

②「令和の新しい学びのカタチ」と「一人一主任業務」への挑戦

③人にやさしく、仕事にきびしく、抱え込まずにヘルプとサポート

④学び合い 高め合う 研究の推進

⑤課題の可視化と解決策のシステム化による経営政策能力の向上

3 なりたい仕事No.1・憧れられる教師としてのロールモデル

—働き方DXの推進 と コンプライアンスの徹底—



①楽しく仕事をしよう 笑顔で子供の前に

②セルフマネジメント 時間外勤務45時間以内（毎月）

③早期立案と見通しの明確化 重要性 $\geq$ 緊急性

④校務の合理化・効率化 Google for Educationの更なる活用

3 なりたい仕事No.1・憧れられる教師としてのロールモデル

—働き方DXの推進 と コンプライアンスの徹底—

⑤信用失墜行為の根絶・早期発見・迅速・的確な初期対応

さ

・最悪を想定して サービス精神に徹する

し

・慎重に対応 迅速な対応

す

・素早く対応 水面下にも気を配る

せ

・誠意をもって対応 誠意をもって対応

そ

・組織的な対応 相談しやすい態度で

安心して ヘルプとサポートが出せる 戸田東小学校

戸田東小学校Home Page
はこちらから↓



戸田東小学校Facebook
はこちらから↓



東雲デジタルブックリーフレット
はこちらから↓



facebook